

ワールド・モード、広告代理店の双葉通信社を買収

2023/10/30 0:00 | 日本経済新聞 電子版



ワールド・モード・ホールディングスは双葉通信社を買収する

ファッション・化粧品業界向けの各種サービスを手掛けるワールド・モード・ホールディングス（WMH、東京・渋谷）が、同業界に強い広告代理店の双葉通信社（同・中央）を買収することが29日分かった。老舗の同社の子会社化で取引先や顧客、サービス基盤を取り込み、今後予定する新規株式公開（IPO）に備えて収益基盤を広げる。

双葉通信社の株式を100%保有する双葉ホールディングスから80%の株を取得する。買収額は非公表。10月1日に株式の譲渡契約を結んでおり、10月31日付で譲渡を受ける予定だ。将来的にはWMHは残り20%も取得し、双葉通信社を完全子会社とする方針だ。

ファッション・化粧品業界に特化した広告代理店としては、すでにWMHは傘下にAIAD（アイアド、東京・渋谷）を抱える。双葉通信社を合わせれば同業界でトップレベルの売り上げになるという。両社で顧客情報や新事例の共有、プロジェクトの公募

への共同参画などを通して協業を進める方針だ。現時点で社名変更や合併の予定はない。

双葉通信社は1948年に創業した。国内のファッションや化粧品業界の広告代理店老舗としてのブランド力や知名度を持つ。出版社との関係が深い同社とデジタルマーケティングを得意とするアイアドを連携させて相乗効果を高める。

WMHは2027～28年度をめどに国内市場を念頭にIPOを目指している。高級ブランド大手や宝飾品、化粧品や国内アパレルなどとの取引があり、高級ブランド店への販売員派遣や教育など、ファッション・化粧品業界向け人材サービスに強みがある。双葉通信社を傘下に収め、広告代理店で手掛けるブランドマーケティングなどを新たな収益の柱に育てる。

(米田百合香)

許諾番号30095992 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

NIKKEI Nikkei Inc. No reproduction without permission.